

111号 地域開発みちの会



# みちの会だより

<http://www.aichi-michinokai.com/>

発行責任者 岡本一美

## ◆第36回 地域開発みちの会 フォーラム◆

「ジェンダー平等のために私たちは行動する」

2025年2月18日（火）13:30～16:00

東海市立市民活動センター大会議室

参加者41名（会員27名、行政10名、一般4名）

1. 開会：岡本会長あいさつ
2. 活動報告：2024年度の活動報告  
各プロジェクト事業の報告  
東海市委託事業の報告
3. 基調講話：山本恵子氏  
(ジャーナリスト・元NHK解説委員)  
「Well-being」は、心身ともに健康で満たされ幸福な状態をいう。  
広島県の「男性活躍推進条例」など新たな取組についての紹介で  
意識のチェンジなどを話されました。
4. 意見交換：自治体調査集計から出された「課題」等をテーマに  
自治体の方の発言も活発に出されました。



知多メディアネットワークの取材を受け、次の日に  
フォーラムの様子が放送されました。

<https://search.app/aZ1NLh4vcj3Uyctp7>



## ◆第5回全体会・新年会・お助けフリマ◆

2025年1月17日 13:00~15:30

ノンナカコレ

参加者 26名

第5回全体会では

東海市委託事業の進捗状況、  
プロジェクト事業、  
フォーラムについて  
報告、話し合いが行われ、  
食事会はテーブル席で  
美味しいイタリア料理とフリー  
ドリンクを楽しみました。



お助けフリマには手作り品、衣料品、小物、海産物などの品物が出品され、沢山購入され、盛況のうちに修了。売上金 20,300円はみちの会に入金されました。



## ◆C ブロック学習会◆

2025年1月21日 14:00~16:00

知多市市民活動センター2階会議 参加者12名

「日本の食が危ない～食料安全保障・消費者にできること～」

講師 飯尾 歩氏 中日新聞解説委員

クワトロショック+食料自給率38%では日本は飢餓になっていく。消費者の役割としては環境の負荷の低減、食料の持続的な供給を考えて選択し、生活の向上に積極的役割を果たす必要があると話されました。



(クワトロ・ショック

- ① コロナ禍による物流の停滞
- ② 中国による食料の爆買い
- ③ 異常気象による世界的な不作
- ④ ウクライナ戦争の勃発)

## ◆プロジェクト2024 ジェンダー平等のための行政アンケート調査◆

アンケート調査を地域開発みちの会 6市5町担当部署へ依頼

アンケート結果を考察 フォーラムで発表

<http://www.aichi-michinokai.com/shiryoushitsu/enquete/r6forum3.pdf>

<http://www.aichi-michinokai.com/shiryoushitsu/enquete/r6forum1.pdf>

## ◆プロジェクトSDGs VI・なごや環境SDGs事業促進助成金受託事業◆

### ○dela ファーム見学と講演会

2025年1月22日 13:30~15:00

名古屋市農業センター dela ファーム 参加者 16名

① 参加者全員で dela ファーム見学

② 講演 講師 高木 幹夫氏

古くからその土地に適した野菜がある、愛知の伝統野菜を絶やすことなく残して沢山の人に知ってもらい、守っていきたいとの思いで、伝統野菜の普及と活用に関する活動を行っている。愛知の伝統野菜には、八事五寸人参、徳重大根、大高菜などがある。

③ 手作り八事五寸人参ケーキとコーヒー、紅茶で懇話会



### ○映画と講演会

2025年2月22日 1:30~16:00 イープルなごや 3階ホール

1部 映画「タネは誰のもの」

参加者 120名

2部 講演会 講師 山田正彦氏 映画プロデューサー、元農水大臣

・種子と種苗について

・食品表示～原料原産地表示について～

山田先生を囲んで

・安全な食料の自給を達成するには



2025年3月30日  
青山公園で令和の百姓一揆  
トラクター行進実施



### これからの行事

・新旧運営委員会 3月28日(金) 13:30~ ソラト 会議室とリザーブ席

・総会 4月18日(金) 13:30~ ソラト 会議室

会員の皆様の活動をお知らせできて幸せでした 広報担当 阪野信子 伊藤恵子